

闘い、前進する全国 大管法反対 諸権利擁護

大 教養スト一カ月継続 対学部団交に当局動揺

現在、阪大には、当局の恣意の処置、つまり治安官や、養法人化攻撃に対し、教養部ストを中心に全体的な学生生活の反響を呼び起こしている。教養部では、6月8日より、一月ストライキが継続し、学部においても、学部団交に反響の勢が上っている。この中で教養部の成果が確認され、今、新たな局面を迎えている。



6.11理学部長団交(上) 理学部を囲む機動隊(下)

二年ぶり大会成功 自治会強化へ大きく前進

自治会強化へ大きく前進

首脳自治会連絡会議の構成自治会である法政大学工学部自治会は、5月31日一年ぶりの学生大会成功という画期的成果を挙げた。この大会の目的は、二年有余にわたる沈滞した工学部学生運動に終止符を打ち、大衆的自治運動確立への巨歩を踏み出した事を示している。大会は、三百十三名の出席と二百四十五名の委任状を結果とし、定足数三百十六名を、はるかに上回る開始され、みなぎる学友の熱をまきこんで展開されている。自治会強化への大きな前進である。

真相究明集会成功 民青に批判集中

6.13—大阪教育大

六月十三日は、池田自治会連絡会議の主催の下で、真相究明集会が行われ、民青の学友を中心に、この決断が集中し、その不当性を指摘された。この集会は、民青の学友を中心に、この決断が集中し、その不当性を指摘された。この集会は、民青の学友を中心に、この決断が集中し、その不当性を指摘された。

全学自治会選勝利

東京理科大学では、6月18日、27日にかけて全学自治会委員選挙が行われた。新大管法国会は、進歩的自治会を擁護する立場から、民青の学友を中心に、この決断が集中し、その不当性を指摘された。

6.23 解放研連協(準)結成 部落研運動の飛躍的發展へ

六月二十三日、大阪の地において結成された部落解放研連協(準)の結成は、狭山闘争の全国的高揚の中で育った多くの大学の部落研、解放研の統一した発展をその指針に大きく貢献するであろう。大阪の大学を中心として発展してきた学生の狭山闘争や部落研運動は、今や東京において、東洋大学で発展してきている。

「狭山の黒い雨」上映 上映実行委主催に三五〇

今日、難波方面で上映されている「狭山の黒い雨」上映会は、大船に展開され、九月法闘へ向けて、大言に展開している。上映実行委主催に三五〇名が参加し、大船に展開され、九月法闘へ向けて、大言に展開している。

5.31 全学統一行動成功 大管法、朝霞移転、学費闘争

5.31全学統一行動は、朝霞移転阻止、学費闘争、大管法反対を目的とした大規模な学生運動であった。この行動は、全学統一行動として成功し、大管法、朝霞移転、学費闘争を目的とした大規模な学生運動であった。

6.22 一 寮、サークル

寮、サークルの活動は、学生生活の重要な部分である。6月22日には、寮、サークルの活動が盛んに行われ、学生生活が豊かになった。

